

CCSモニタリング関連受託業務における 不適切な処理について

2024.9.13



1. 調査の経緯

2024年

4月17日 : 関西電力社外コンプライアンス相談窓口（以下「社外窓口弁護士」）において通報受付

<通報内容>

環境部および東京支店は、国からの受託事業（国プロ事業）において、実際には従事していない従業員が、当該事業の一部を実施したかのように装い、虚偽の作業日誌を作成して人件費を請求している

4月25日～ : 社外窓口弁護士指導の下、KANSOテクノス調査事務局により、国プロ事業のうち、直近に事業が完了した、令和5年度海洋環境保全上適正な海底下CCS※¹実施確保のための総合検討事業委託業務※²（以下「本件業務」）から調査を開始

6月26日～ : 公平性・中立性の観点から、より詳細な調査が必要であると判断したため、関西電力から社外窓口弁護士に対し本件調査を依頼

9月 9日 : 社外窓口弁護士より、事実経緯の調査報告書（以下「調査報告書」）を受領

※¹ 「C C S」とは、“Carbon Capture and Storage”（炭素回収貯留）の略称であり、温室効果ガスの排出を抑制する方法として、製油所や発電所、工場などから出る二酸化炭素を分離・回収して地中に貯める技術を意味する。

※² 7頁に本件業務の概要を記載

2. 調査の方法等

(1) 調査主体

関西電力社外コンプライアンス相談窓口の担当弁護士他※³

※³ 弁護士法人 三宅法律事務所（福田泰親弁護士 他3名）

(2) 調査の範囲

本件業務に係る不正確な人件費及び機器損料の請求の実態解明、関係者による関与の有無、類似事案の調査、原因分析等

調査報告書はこのうち、人件費等請求に係る事実経緯の実態解明に焦点を当てて報告するもの

(3) 調査期間

2024年6月26日～

(4) 調査の方法

ア 関係資料の確認・精査

関係資料の提出を受け、これらの資料を調査・分析

イ 関係者へのヒアリング

本件業務の関係者のうち、合計28名に対し、ヒアリングを実施

(5) 調査の前提事項

調査段階では収集できていない関係資料、情報やヒアリングできていない情報等が存在し、新たな事実関係が判明した場合には、事実認定が変更される可能性があることを留保

1．調査結果の概要

(1) 2023年4月3日、KANSOテクノスは環境省との間で、本件業務にかかる契約（以下「本件契約」）を締結し、本件契約では、契約金額2億7200万円（税別）を上限として、実際に本件業務に要した費用を委託費として支払われる旨が定められていた。

本件業務完了後、KANSOテクノスは環境省に対し、委託業務精算報告書（以下「精算報告書」）を提出した。同報告書には、要した経費として契約金額と同額が記載されていたため、環境省は委託費の確定額として同額を支払った。

(2) 環境省への請求にあたっては、人件費及び業務費（機器損料、再委託費）の費目間で付け替え、また、契約金額と請求金額が一致するよう、人件費及び機器損料の金額を増額する方向で調整が行われていた（以下、1万円未満の金額については切り捨てで表記する）。

【再委託費】KANSOテクノスは協力会社に本件業務の再委託を行っているところ、このうち2社に関して、環境省から再委託に係る承認を得ており、当該2社に支払った再委託費6,330万円（税別）を再委託費として環境省に報告・請求した。一方、協力会社のうち4社に関しては、環境省へ再委託に係る承認申請を行わず、再委託費合計4,200万円（税別）については環境省に報告・請求を行っていない。

【機器損料】合計3,737万円（税別）を環境省に報告・請求したが、精算報告書に記載の機器のうち一部は協力会社が保有する機器であって、KANSOテクノスが保有する機器ではなく、これらの機器にかかる機器損料合計2,539万円（税別）は、本件業務のためにKANSOテクノスが負担した費用とは評価できない。

【人件費】精算報告書では、合計28名の従業員が本件業務に従事したとして、各人の委託業務従事時間報告書（本件業務の作業内容・作業時間等が記載されている報告書。以下「従事時間報告書」）が作成・添付されているが、環境省に提出した28名の従事時間報告書の中には、本件業務には全く関与していない従業員の従事時間報告書や、実際の作業実態とは異なる内容の作業時間が記録された従事時間報告書が含まれている。そのため、環境省に報告・請求している人件費9,799万円（税別）のうち、3,521万円（税別）は、本件業務のためにKANSOテクノスが負担した費用とは評価できない。

本件業務のためにKANSOテクノスが支出・負担したとは評価できない人件費及び機器損料の合計金額は、6061万円（税別）である。他方で、KANSOテクノスが支出・負担したものの環境省には報告・請求していない再委託先4社への再委託費は、4200万円（税別）である。この再委託費4200万円（税別）の環境省への請求の可否は、その判断の前提となる事実関係を現在調査中であるが、現時点では、当該再委託費を超える部分（6061万円（税別）と4200万円（税別）の差額部分）である1861万円（税別）は、KANSOテクノスが本件業務に要した費用とはいえないと認められる。

・ 契約金額

・ 精算報告書

・ 調整の内訳

(万円)

人件費		9,799
業務費	旅費	688
	借料損料	備船費 2,346
		機器損料 3,737
	通信運搬費	182
	消耗品費	190
	印刷製本費	15
	雑費	14
	諸謝金	38
	会議費	0
	雑役務費	232
	分析費	1,205
	再委託費	6,330
一般管理費		2,419
小計		27,200
消費税		2,720
合計		29,920

2億7200
万円(税別)

※契約金額を上限
に、KANSOテクノス
が本件業務に要した
費用を支払う契約

同額となるよう
人件費・機器損料
を調整

稼働実績の無い人件費
3,521万円

+

自社分以外の機器損料
2,539万円

計6,061万円

(1万円未満切り捨てのため合計値は
一致しない)

現時点では、
差額1,861万円は、
KANSOテクノスが
本件業務に要した
費用とはいえないと
認められる

環境省に請求している
再委託費 計6,330万円

(環境省 承認済み)
2社

環境省に請求していない
ものの、実際に支出した
再委託費 計4,200万円

(環境省 未承認)
4社

(3) 経緯

KANSOテクノスでは、2008年～2009年頃から、環境省のCCS業務を受託するようになった。2013年に環境省内で実施された行政事業レビューにおいて、外部有識者からKANSOテクノスは「1者応札、落札率97.7%、全体の42パーセントの1億が再委託、さらに関西電力の100%子会社ということで、実施業界側にあり、金額の妥当性、独立性、透明性に疑問が残る。」、「再委託先への直接委託等含め、コスト削減、効率化を一層図るべき」とのコメントがなされた。

調査の中では、上記コメントを契機として、KANSOテクノスは、次年度以降、再委託先の一部については環境省に再委託の承認申請を行わず、再委託費の報告・請求も行わず、承認申請を行わない再委託費については人件費や機器損料として報告・請求することとなった旨の供述が見受けられた。

行政事業レビューを契機として、本件人件費等請求が行われるようになった可能性があるが、このような事実関係の有無や内容の詳細については現在調査中である。

1. 外部弁護士による継続調査

- ・過去受託分に調査範囲拡大
- ・本件経緯の詳細調査
- ・原因究明および再発防止への提言 など

2. 総点検と緊急の再発防止対策

(1) 総点検

- ・社長をトップとする対策本部による官公庁案件の総点検

(2) 緊急の再発防止対策

- ・社長から従業員へのメッセージ発信
- ・国プロ案件に関するチェック体制の強化
- ・社外講師による研修等により、コンプライアンス遵守の再徹底、意識醸成
- ・相談窓口の再周知等、従業員の声上がる取組みの強化

「令和5年度海洋環境保全上適正な海底下CCS実施確保のための総合検討事業委託業務」について

1. 目的

我が国では、特定二酸化炭素ガスの海底下廃棄（以下「海底下CCS」という。）については、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律により原則禁止であり、環境大臣の許可を受けた場合に限り実施可能となっている。環境省は、海底下CCSが、海洋環境に悪影響を及ぼさないよう適正に実施されることを確保するため、審査当局として、海底下CCS事業における適正なモニタリング技術の適用方法の確立を図る必要がある。そのモニタリングにあたっては、廃棄された特定二酸化炭素ガスの海底下での貯留状態把握が必要であるため、本件業務は、海底下CCSにおける海底下モニタリング技術の高度化・効率化について検討を行うことを目的としている。

2. 業務内容

- (1) 海底下CCSに係る海底下モニタリング技術の高度化・効率化に関する検討
- (2) 苫小牧沿岸域における海洋環境の把握等のための現地調査
- (3) 新たなモニタリング技術及びその適用方法の検討
- (4) 苫小牧沿岸域における海洋環境の把握等のための現地調査に係る解析等の実施
- (5) 公表用資料（案）の作成
- (6) 海洋生物に係る文献調査等の整理、カーボンニュートラル達成に向けた周知活動
- (7) 検討会の開催
- (8) 報告書の作成

（本件業務の委託業務仕様書を要約）